

# 交通行動モデルに基づく 電気自動車の急速充電インフラ計画

#電気自動車

#交通量配分

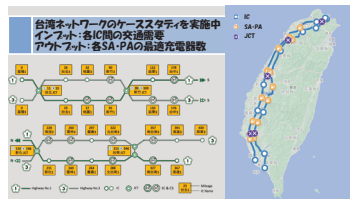
#経路選択

#充電行動

#最適化

研究  
内容

電気自動車の道路利用者は最も早く目的地へ到着できるように経路と急速充電場所を選択するという行動原理に基づき、急速充電器の配置により行動が変容する。このことをモデル化し、将来の交通需要と道路ネットワークを所与として、社会全体の時間的費用とインフラ費用の合計が最小となるような充電インフラと、その時の交通流を求めることを目指している。実ネットワークでの計算を可能にするために、ヒューリスティックなアルゴリズムを援用する等、より一般的な条件で求解することが課題である。



Develop+

応用分野

都市・社会基盤分野、電力関連、モビリティ、スマートシティ



坂井 勝哉 SAKAI Katsuya

共同研究講座・協働研究所  
工学研究科共同研究講座 特任講師（常勤）  
モビリティシステム共同研究講座



## 論文・解説など

- 坂井勝哉, パワーアカデミー研究助成2024年成果報告会 (2024)
- Y.Ota, S.Yoshizawa, K.Sakai, et al., *IATSS Research*, Vol.47, Issue.2, pp.270-276 (2023)
- 坂井勝哉, 太田豊, 電気学会電力エネルギー部門大会 (2022)

連絡先HP

